

		4/20 月	～	5/6 5/7 水 木	～	5/31 日	
学習支援	<b>県立学校 (高校・特支)</b>	<p>※ <b>全ての県立学校でオンライン授業実施</b></p> <p>※ 1校あたり1オンライン教室でスタート(4/20～) → 1校あたり3教室(各学年1オンライン教室)に増強(5/11予定)</p> <p>＜活用例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師 ⇄ 生徒間の同時双方向型のオンライン指導</li> <li>○ 映像やデジタルコンテンツを教材として活用した指導</li> <li>○ アンケート機能を活用して生徒の授業理解度を確認</li> </ul> <p>※ スマホや家庭にWi-Fi環境がない生徒には、授業録画DVDを貸出、タブレット貸与検討</p>					<p>※ オンライン授業実施の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 県立学校間をつなぐネットワークが整備済(県情報スーパーハイウェイ)</li> <li>✓ 全ての県立高校の普通教室にICT環境整備(R元年度)</li> <li>☞ 電子黒板機能付きプロジェクター、ホワイトボード、書画カメラ、無線LAN、タブレット型PC</li> <li>✓ 自宅に受信端末(スマホやタブレット、パソコン)及びWi-Fi環境のある生徒=約95%</li> </ul>
	<p>■ <b>学校別サーバーに、オンライン授業の教材、課題プリント等を掲示・提供</b></p> <p>☞ 生徒が各自ダウンロード・プリントして利用</p>						
<p>■ <b>課題(ノート、ワークブック、プリント等)の回収・確認、追加課題の配布(郵送等)</b></p>							
<p>■ <b>電話やメールによる質問受付・回答</b></p>							
<b>市町村立 学校 (小・中)</b>	<b>新しい教科書に基づいた学習支援</b>						
<p>■ <b>家庭学習プランニングシート作成・提供(4/8～)</b></p> <p>☞ 規則正しい生活・学習のための日課票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の健康状態(検温・体調)、食事、起床・就寝時間</li> <li>・ 学校の時間割に応じた家庭学習の記録等</li> </ul>					<p>■ <b>学習支援動画の作成・提供(4/24から单元ごとに提供)</b></p> <p>☞ 県教委で、教科書に即した動画を作成、各市町村教委に提供 (各市町村によるホームページ掲示、CATV等を通じた配信等の取組を促進)</p>		
<p>■ <b>家庭学習ワークシート作成・提供(3/10～)</b></p> <p>☞ 全学年・全教科の課題プリント</p>							
<b>心のケア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電話相談窓口(子どもSOS24、ほほえみ相談ダイヤル)の再周知</li> <li>○ SNS(LINE)を活用した教育相談(5/6～6月中旬まで延長実施)</li> <li>○ 悩みを把握する「心のアンケート」実施(4/20、5/8、5/22)【県立学校】</li> <li>○ 各学校に児童生徒からの質問・相談受付専用電話を設置【県立学校】</li> <li>○ スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>						

# 県立高校における学習支援の実施状況と課題について

4/20  
月

5/11 (予定)  
月

5/31  
日

オンライン支援

## 1 オンライン教室で学習支援

- ✓ 教員 ⇄ 生徒間の同時双方向型のオンライン授業
  - ✓ スライド等を活用し、わかりやすい授業を提供
  - ✓ アンケート機能を活用して、授業ごとに理解度を把握
  - ✓ 時間割と課題をリンクさせ、  
生徒が予習をした上で受講し理解度を高める授業を実施
- ※ 受信環境がない生徒には、授業録画DVDを貸出  
【課題】 ● 1 オンライン教室では十分な学習支援ができない  
● 録画DVDの作成まで時間差が生じ、  
平等性に課題が残る

## 1 オンライン教室で生活支援

- ✓ 学年別に時間をずらして健康チェック等、生活状況を確認
- 【課題】 ● 3学年の同時配信ができない  
● 受信環境がない生徒は受講できない

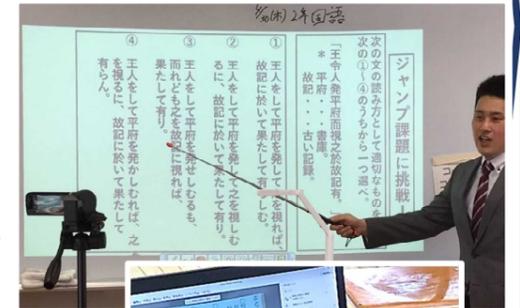
### オンライン学習支援 時間割 (5/7~5/11)

時間帯	5/7 (木)	5/8 (金)	5/9 (土)	5/10 (日)	5/11 (月)
1 9:00~9:20	科目: 1年国語 内容: 正帯活用 使用教材: 古典文法書・古典文法準拠ノート 注意事項: 教科書に				
2 9:30~9:50	科目: 2年国語 内容: 漢文「紀事真実」(p.10~) 使用教材: 教科書(漢文編) 新編漢文 注意事項: オンライン授業用プリント				
3 10:00~10:20	科目: 3年国語 内容: 身体(の)建外 (p.231~) 使用教材: プリントの問題を解いてから視聴すること				
4 10:30~10:50	科目: 2年(文) 日本史B 内容: 古墳の発掘とヤマト政権 使用教材: 教科書 p.23~33 を熟読しておく。 注意事項: 教科書・資料集を準備				
5 11:00~11:20	科目: 2年(文) 世界史B 内容: アジア世界①(前半) 使用教材: 教科書 p.27~32 を熟読しておく。 注意事項: 資料集も使用。転送された授業プリント・本文穴埋めプリントを併用する				
6 11:30~11:50	科目: 3年(文) 倫理 内容: キリスト教・イスラム教 使用教材: 教科書、資料集、ノートを準備すること				
7 12:00~12:20	科目: 3年(理) 地理B① 内容: 都市の発展と生活 使用教材: 教科書、資料集				
8 12:30~12:50	科目: 3年(文) 政治・経済 内容: 民主政治のしくみと課題				

## 3 オンライン教室で学習支援

### 受信環境のない生徒へタブレットを貸与 (予定)

- ☞ 全ての県立高校の生徒にオンライン授業を提供
- ✓ 配信時間についてはオンラインにより学習
- ✓ 3学年同時展開
- ✓ 学科やコース別の授業の提供
- ✓ 配信時間外でも  
授業への質問にオンラインで回答
- ✓ 学年集会や総合的な学習の時間等  
学年別の活動も実施



## 3 オンライン教室で生活支援

- ✓ 朝のオンラインSHRを実施  
→ 学年ごとに生活状況を確認 (生活リズムをコントロール)



オンライン授業を視聴できなかった生徒用に動画配信サイトを利用して再度、授業を配信 (一般には公開されない・「限定公開」設定による配信)

## 専用メールや電話での質問受付

オンライン授業がない時間帯は、課題プリント等で学習 ✓ オンラインと連携し、予習・復習のサイクルを確立

紙ベースでの支援

## 学校HPや学校別サーバーにオンライン授業の教材、課題プリント等を提示・提供

## 課題(プリント、ワークブック、ノート等)の回収・確認、追加課題の配布 (郵送等)

## 学校HPや学校別サーバーに、生活支援シート等を提示・提供

- ✓ 生徒が各自ダウンロード・プリントして利用 (環境がない家庭には郵送にて提供)
- ✓ 「生活支援シート」等に、毎日の健康状態 (検温・体調)、起床・就寝時間の記録、  
一日の目標を作成し、一日の振り返りを一文で記録

		今日のめあて					
12日・火	生活チェック	体温	体調(○×)	教科名	数学 I	英語表現 I	国語
		起きた時刻	時 分	内容	教科書	数学 I	英語表現 I
	寝た時刻	時 分					
		今日1日をふり返って					

## 県立学校の学習支援策等に関する主な意見（教員・児童生徒）

### ＜今後さらに改善が望まれること＞

- さらに安定したオンラインでの接続環境を確保し、実技・実習や課題解決学習などのアクティブラーニング等での活用検討
- オンラインでの取組を、クラス活動や学習以外の内容（進学・就職ガイダンス等）にも活用
- 臨時休業期間がさらに延長される場合、オンライン授業等の取組が学習支援に留まらず、単位認定につながることを望ましい

### ＜教員＞

#### ■ オンライン学習支援（授業）について

##### ＜効果＞

- 課題プリントで理解が難しい部分を、オンライン授業で解説することで内容理解に役立っている
- ICT教育への意識・授業スキルが高まり、授業研究・教材作成が進行
- プリントやプレゼン資料等、教科指導の共有財産が増えている
- アンケート機能やチャット機能を利用して双方向でのやり取りが可能
- 学校再開後の学習をスムーズに行う上で効果が高い
- 学校再開後も、土曜補習や夏期補習などで活用できる

##### ＜さらに期待すること・改善点＞

- 実技系の科目や課題解決学習（アクティブラーニング）で活用できるとよい
- 特別支援学校においては、障がいの特性に応じた個別のニーズに対応したい

#### ■ 学習支援全体（オンライン授業＋課題プリント等）について

##### ＜現在の取組み＞

- オンライン授業用の課題とそれ以外の課題プリントはHPや郵送で対応
- メールやオンラインによる毎朝の生活習慣・健康チェックを実施
- 多様なニーズに対応するため、回線増加後の時間割を作成している
- オンライン授業 → 演習 という学習の仕方が確立できている

##### ＜さらに期待すること・改善点＞

- 課題の回収を効率良くできるようにしたい
- 限られた回線数を活用したオンライン授業と課題等の組合せで、従来の授業効果が出るようにすることが重要

#### ■ その他

- 定期的に担任から家庭に電話し、個々の生徒の生活状況、学習状況を確認している

### ＜児童生徒＞

#### ■ オンライン学習支援（授業）について

##### ＜効果＞

- オンライン授業が生活習慣・学習習慣づくりの柱になっている
- 教員が自分たちを見てくれているという安心感がある
- チャット機能や挙手による反応が可能で、真剣に取り組むことができる
- 自分一人では家庭で勉強に向かえないため、授業配信は効果的である
- 登校できない状況で、オンライン授業に対する期待は大きい
- 家庭で取り組まなければならないことが明確になり役立っている

##### ＜さらに期待すること・改善点＞

- より多くの教科で授業が受講できるといい
- クラス活動や学習以外の内容（進学・就職ガイダンス等）にも活用
- 学習の進度に個人差が出ないようにしてほしい

#### ■ 学習支援全体（オンライン授業＋課題プリント等）について

##### ＜効果＞

- オンラインと課題プリントの支援により、バランスよく学習できている
- 毎週の課題提出などがあり、学習の遅れに対する不安解消につながっている
- 教員が添削してくれるのでやる気が出る
- 自学自習の習慣が身につき始め、順調に学習が進んでいる

##### ＜さらに期待すること・改善点＞

- 自宅に印刷環境がなく、印刷・出力に苦労している
- 課題ではなく、オンライン授業の時間数を増やしてほしい
- 再開後の学校の授業でも、スマホやタブレットを利用したい

#### ■ その他

- 特に高校3年生の進路（進学・就職）への手立てを検討してほしい
- 学年ごとの登校日を設定するなど、段階的に学校を再開してほしい

# 県立特別支援学校における学習支援の実施状況について

- ✓ 子どもと教員の関係づくりを重点に実施
- ✓ 一人一人に応じた授業コンテンツを配信
- ✓ 保護者と連携して心身の健康状態を確認

## ■ 支援内容（オンライン授業・DVD等）

知的障がい 重複障がい	<p>&lt;授業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の会（あいさつ、呼名、天気調べ、健康観察、朝の歌等）</li> <li>○生活単元学習（手洗い、咳エチケット、着替えなど）</li> <li>○音楽・体育（体操、手遊び、リズム運動）</li> <li>○自立活動（絵本の読み聞かせ、ペープサート、人形劇）等</li> <li>○オンライン学習に参加できない児童生徒へは 授業コンテンツを保存したDVDを配付</li> </ul>
オンライン授業 以外の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校サーバーでの課題プリントの提供</li> <li>○質問に対する指導</li> </ul>

5月11日以降（予定）、  
タブレットを貸与し、より多くの児  
童生徒がオンライン学習に参加予定

## ■ 障がい特性に応じた支援

視覚障がい	○弱視のある生徒へのiPadアプリを活用した授業 (iPad上で教材の拡大、文字の入力、課題の提出可)
聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手話を普段よりゆっくり行う</li> <li>○文字情報の多用（大きさ、色の確認）</li> <li>○電子黒板を活用した授業</li> </ul>
病弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オンライン学習や電話等による生活リズムの コントロール</li> <li>○担任とのコミュニケーション・相談によるストレス の解消</li> </ul>

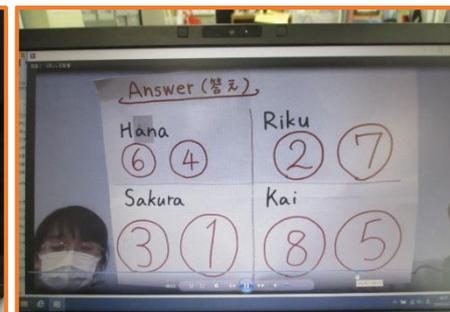
## ■ 時間割例（大垣特別支援学校）

時間	学部等	内容
1時間目 9:00~10:00	小学部①②	「いっしょにうたおう」 「からだをうごかそう」 「かだいのじかん」 「リラックスタイム」
2時間目 10:00~10:45	中学部①②	体操 国語・数学
3時間目 10:45~12:00	高等部①② 高等部③	体育 各教科
昼休み		
4時間目 13:00~14:00	小学部①②	「いっしょにうたおう」 「からだをうごかそう」 「かだいのじかん」 「リラックスタイム」
5時間目 14:00~14:45	中学部①②	音楽 自立活動
6時間目 14:45~16:10	高等部①②③ 小中高③	音楽 各教科

5/11日以降、  
3教室に増設し、  
学部別又は課題  
別にチャンネル  
を設定予定



「音楽」リズム運動



「英語」課題の答え合わせ

# 公立小中学校における学習支援の実施状況と課題

## ■ 県の取組み

◇家庭学習プランニングシート	◇家庭学習用教材	◇学習支援動画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の生活状況、家庭での学習計画</li> <li>・ 時期ごとに3回配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭学習用ワークシート（3月未指導分、4～5月指導分）</li> <li>②GIFU Web ラーニング（小学校全学年の算数教材を Web 上で提供）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習用ワークシートを活用した学習を動画で解説</li> </ul>

## ■ 市町村・学校の取組みと課題

主な取組み（市町村数）※4月調査結果		市町村・学校の取組みと課題
計画的な家庭学習 と学習状況把握	①プランニングシート等の活用による計画的な家庭学習の実施(42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各家庭へのポストインや学校HPでの掲載等により、プランニングシートの配布が確実にされている</li> <li>● 休業延長により児童生徒がプランニングシートを提出できなくなっており、個の学習状況を把握するための回収ができていない</li> </ul>
	②電話、郵便、メール等の活用による個々の児童生徒の把握(42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 概ね2週間に1回程度の電話連絡は全ての市町村で実施されている</li> <li>● 人間関係ができていない中で、個の学習状況の把握に苦勞している</li> </ul>
学習教材	教科書 紙媒体の教材 ③教科書に基づく家庭学習(40) <small>※未指導分の家庭学習を優先してきた(2)</small> ④市町村、学校による教材作成(42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習プリントに教科書のページを示すなど、教科書に準拠した学習ができるよう教材を作成している</li> <li>● 学習プリントが提出されない中で、児童生徒の習熟度や学力差に応じた支援に苦慮している</li> </ul>
	デジタルコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書に準拠した授業動画を市で統一して作成・配信</li> <li>○ Web会議システム等を活用した双方向型のオンライン学習</li> <li>○ 地域のケーブルTVで学習番組を放映</li> <li>● 家庭で視聴できる端末を保有していない児童生徒がいる</li> <li>● 小学校低学年の児童にとっては、家庭で動画を視聴しながら学習することは難しい</li> </ul>
その他	⑧電話等による心身の健康状態のケア(42)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症予防の啓発のため養護教諭等による動画や保健だよりの配信</li> <li>○ メールやHP上で電話やSNS、SC等による相談窓口を周知</li> <li>● 児童生徒の表情や様子が確認できないため、心身の健康状態を細かく把握することに苦勞している</li> </ul>

## 課題

- デジタル形式での学習支援については市町村や学校ごとに取組の差があり、更なる充実が必要
- 児童生徒一人一人の学習状況の見届けが不十分。特に、小学校低学年では対面での学習支援が必要

# 児童生徒の心のケアに関する取組について

## ■ 「心のアンケート」の実施について 【高・特対象】

### <概要>

- ・ 学校緊急連絡メールのアンケート機能を利用して、高校・特別支援学校の生徒に、心身の健康状況や臨時休業中の不安や悩み、スクールカウンセラーとの面談の希望を尋ね、担任やスクールカウンセラーとの相談につなげる。
- ・ 今後、5月8日、22日及び学校再開直後に実施予定

### <これまでの状況> (R2.4.20実施分)

- 不安や悩みのある生徒数 6,296名 / 39,039名 (4月30日18時現在)
- 不安や悩みの内容
  - ・ 新入生なので他の中学校出身の生徒と生活することに不安がある
  - ・ コロナがうつるのではないかと学校に行くのが怖い
  - ・ 友人と長い間会っていないので、学校が始まったらどう接すればよいか悩む
  - ・ オンライン授業を受けているが、質問ができない
- スクールカウンセラーとの面談の希望者数 164名 (高校分)

## ■ 電話相談について 【全校種対象】

### <周知方法>

- ・ 電話相談窓口(子供SOS24、教育相談ほほえみダイヤル等)について、学校緊急連絡メールを利用し、生徒及びその保護者に改めて周知
- ・ 毎日WEB授業の終わりや授業の合間等に、電話相談窓口を生徒に提示
- ・ 全県立学校のホームページに新たに電話相談窓口を掲示

### <これまでの状況> (R2.3.21~4.20集計分)

- 電話相談の相談件数
  - ・ 子供SOS24 98件
  - ・ ほほえみダイヤル 44件
- 電話相談の相談内容
  - ・ 課題は出ているが、何もする気がしない
  - ・ 友だちに外出を誘われ断ったら仲間はずれになった
  - ・ 親から注意を受ける機会が多くなった

## ■ スクールカウンセラーとの相談について 【全校種対象】

### <概要>

- ・ スクールカウンセラーは、臨時休業中も学校を訪問、感染防止の観点から、対面での面談ができないため、電話による生徒の相談を実施
- ・ 5月中に、「心のアンケート」でカウンセリングを希望する全ての生徒にスクールカウンセラーとの相談を実施予定
- ・ 今後実施する「心のアンケート」についても随時実施
- ・ 電話により心身の健康状態を確認し、必要な児童生徒にはカウンセリングを実施

### <スクールカウンセラーの機能>

- ☞ スクールカウンセラー 140名 (大半が臨床心理士の資格あり)
  - ・ 不登校傾向の児童生徒やその保護者と相談
  - ・ 虐待やいじめを受けた児童生徒への相談
  - ・ 教員の生徒対応への悩みへのアドバイス
  - ・ 教員向けに教育相談の在り方研修 等の実施

## ■ SNSを活用した相談について 【中・高・特対象】

### <概要>

- ・ 県内の高校生・中学生段階の生徒を対象に、生徒が活用しているLINEによる教育相談を実施し、臨時休業中の悩みや不安等に対応
- ・ 臨時休業期間の長期化したことで、期間を6月12日まで延長し、大きなストレスを抱える子供たちの心のケアを実施
- ・ 期間 5月6日から6月12日まで

### <これまでの状況> (R2.3.16~3.27実施分)

- 相談対応件数 97件  
(中学6, 高校43, 特支10, その他(保護者等)5, 不明33)
- SNS相談の相談内容
  - ・ 異動される先生方に離任式で会えないのが辛い
  - ・ 受験生になるのに勉強に集中できない
  - ・ コロナのために修学旅行が中止になったら悲しい